牛久市第４次総合計画
第２期、始動！

問　政策企画課☎内線1211

「総合計画」とは？

牛久市のまちづくりの指針の最上位に位置し行政運営となる計画で、すべての行政計画の総合的な指針となるものです。

2024(令和6)年に「牛久市第4次総合計画「第２期基本計画」がスタートします。策定調査、市民ワークショップなどを行い、今回は、同計画の概要を第１期基本計画」が終了し、今年度からにあたり、第1期の達成度評価や市民満足度市民の皆さまの意見を取り入れました。皆さまにお知らせします。

詳しくは市HPをご覧ください

牛久市総合計画

総合計画の期間

牛久市第4次総合計画は2021年に策定され、2040年を目標年次としています。基本計画は4年ごとに見直しとなり、今年度からスタートする「第2期基本計画」と「デジタル田園都市構想総合戦略」は、2025(令和7)年度～2028(令和10)年度を計画期間としています。

各種計画の関係性

市の政策・施策を網羅する**総合計画**と、人口減少対策の柱となる**総合戦略**の整合性を図りながら、両計画の効果的な運用を推進するべく、**「第4次総合計画第2期基本計画」「牛久市人口ビジョン」「デジタル田園都市構想総合戦略」**を一体的に策定しました

第4次総合計画【第2期基本計画】

基本構想　まちづくりの基本理念や将来像、目標を示したもので、その実現を目指します。

- 将来像　笑顔あふれる　にぎわいと　やすらぎのあるまち　うしく
- 基本目標　ふるさとを想う市民と共に　「世代がめぐる」まちを創る

基本計画　基本構想に基づき、まちづくり第２期では、第１期で定めた取り組む**「7つの重点プロジェクト」**を掲げました。組むものとして位置付け、市民や企業、団体など着実に実現するための施策を位置づけています。**「7つの政策分野」**に加え、重点的かつ戦略的にこのプロジェクトは政策分野を横断的に取り地域の力と行政が協働しながら推進します。

7つの政策分野

- 政策分野1　健康・医療・福祉
- 政策分野2　教育・文化
- 政策分野3　しごと
- 政策分野4　市民共創
- 政策分野5　生活基盤
- 政策分野6　環　境
- 政策分野7　行政運営

7つの重点プロジェクト

- Project 1　牛久ブランディング
- Project 2　子育て全力応援
- Project 3　ワインと食のまちづくり
- Project 4　市民の足づくり
- Project 5　スマート窓口
- Project 6　国際交流活発化
- Project 7　牛久に住もう働こう

総合計画の分野別施策を地方創生の観点から横断的に抽出

人口ビジョン

人口ビジョンとは、人口の動向を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。今回、総合計画の第2期基本計画策定に合わせ改めて現状と今後の人口推計を分析し目標値を見直しました。牛久市の将来人口の見通しは右記のとおりです。

《2040年将来人口》
82,000人
《2060年将来人口》
81,000人

人口の現状分析 将来の展望

人口の将来展望の実現に向けた施策の展開

デジタル田園都市構想総合戦略

【まち・ひと・しごと創生総合戦略】から【デジタル田園都市構想総合戦略】へ

総合戦略とは、全国的に進む人口減少と地方都市の衰退を食い止めるために「まち」「ひと」「しごと」による地方創生の観点から、地域の特徴を活かした自律的で持続的な社会を作ることを目指した計画です。これまでは**「まち・ひと・しごと創生総合戦略」**として地方創生に取り組んできましたが、国の総合戦略を勘案し、社会情勢を踏まえ、令和7年度を初年度とする4カ年の**「デジタル田園都市構想総合戦略」**を新たに策定しました。これにより、デジタルの力を活用した地方の社会課題の解決を、より高度に、効率的に推進するものとしています。

- 基本目標1　若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる
  【基本施策】出会い・結婚支援、子育て・教育支援等
- 基本目標2　牛久とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる
  【基本施策】持続的な人口流入、地域産業を軸とした関係人口創出
- 基本目標3　牛久に魅力ある「しごと」を増やす
  【基本施策】活力ある産業の創出、起業・創業者への支援
- 基本目標4　ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
  【基本施策】魅力ある地域ブランディング、住みやすい便利なまちづくり等
- 横断的な目標　デジタルを活用した地方創生 シティプロモーション

市民の皆さんの意見も総合計画に反映されています

ワークショップ

計画に市民の声を活かそうと「みんなが笑顔になれるまちってどんなまち？～牛久市のまちを研究してみよう！～」をテーマにワー クショップを開催。参加者は５つのグループ(健康・医療・福祉、教育・文化、しごと、市民共創・行政運営、生活基盤・環境)に分かれてそれぞれの分野の有識者を交えてまちづくりについて学び、牛久市の現状を踏まえて「笑顔になれるまち」のイメージや良いと思った点、困っている点などを話し合いました。

市民満足度調査

市は、予算の策定、行政サービスの改善などに市民の意見を反映させる仕組みとして「市民満足度調査」を実施しています。市民の皆さんが市政をどのように感じているか捉え、今後の重点事項を整理し、市政運営に活用しています。今回の総合計画の策定にもこの「市民満足度調査」の結果を参考にしています。

市HP「市民満足度調査」▶

パブリックコメント

市民の皆さんから幅広く意見を募集するため、パブリックコメントを募集しました。いただいた意見を参考に変更や追記をし、市民の声を反映させています。

市HP「パブリックコメント実施結果について」▶

牛久市総合計画審議会からの答申

牛久市総合計画審議会に諮問していた第2期基本計画について、3月18日、同審議会から市長へ答申が行われました。
答申内容は基本構想におけるまちづくりの将来像の実現に向けて、「牛久市人口ビジョン」、「牛久市デジタル田園都市構想総合戦略」と一体的に、一元的な進行管理のもと、取り組むこと、「７つの重点プロジェクト」については、全庁的な連携を図り、分野横断的に推進することを求められました。